

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立東粉浜小学校（大阪市）

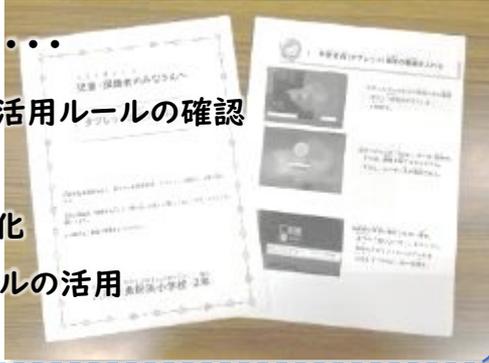
【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

日常的な持ち帰りに向けた取組

めざせ！ 夏休みの全学年端末持ち帰り

事前準備として・・・

- ① 児童に対する端末活用ルールの確認
- ② 保護者への周知
- ③ 連絡帳のデジタル化
- ④ 協働学習支援ツールの活用



児童の反応



端末を持ち帰って宿題が楽しくなったな。
音読ですらすら上手に読むことができるように
頑張りたいな。

新学期に、長期休業中に取り組んだ課題を伝え合う際は・・・

共有された資料は長期休業中も自分のペースで自由に閲覧できるので、新学期の発表会の際も、質問や感想が生まれやすくなります。手を挙げて質問するだけでなく、チャットも併用することで、児童一人一人のアウトプットの機会を保障することができます。



日常的な持ち帰りに向けたスモールステップ

1 まずは連絡帳から
連絡帳をTeamsのチャットで共有するところから始めました。連絡帳記入に関する時間を省略することができました。



2 音読もデジタルに
どの学年でも共通課題として取り組んでいる音読の宿題をTeamsのReading Coach機能を使って取り組むようにしました。



3 日常的な持ち帰りへ
夏休みには、調べ学習やデジタルドリルなど、全学年が学習者用端末を持ち帰り、デジタル課題に取り組み、2学期以降の日常的な持ち帰りにつながりました。

